



三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型) 【愛称:グロウイング・スター】 決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料
データ基準日:2016年8月15日

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズは、8つの通貨コースとマネー・プール・ファンドの計9本のファンドから構成される投資信託です。以上を総称して「当ファンド」、また各々を「各ファンド」ということがあります。また、「円コース」、「米ドルコース」、「豪ドルコース」、「ブラジルリアルコース」、「メキシコペソコース」、「トルコリラコース」、「資源国通貨バスケットコース」、「アジアバスケット通貨コース」の各々を「各通貨コース」ということがあります。

平素より、「三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型)【愛称:グロウイング・スター】」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて当ファンドは、2016年8月15日に決算を迎え、基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の各通貨コースの分配金を下記の通りいたしましたことをご報告申し上げます。

今後とも引き続き、当ファンドをご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各通貨コースの分配金と基準価額(2016年8月15日)

各通貨コース (毎月分配型)	決算期	分配金(1万口当たり、税引前)		設定来分配金合計	基準価額(1万口当たり、 8/15 分配落ち後)
		今期	前期比		
円コース	第59期	60円	-20円	4,540円	7,366円
米ドルコース	第59期	120円	±0円	6,200円	9,724円
豪ドルコース	第59期	80円	-40円	6,640円	6,988円
ブラジルリアルコース	第59期	80円	-40円	9,620円	3,734円
メキシコペソコース	第39期	40円	-20円	2,740円	5,205円
トルコリラコース	第39期	80円	±0円	2,960円	5,390円
資源国バスケット通貨コース	第59期	120円	±0円	6,840円	6,354円
アジアバスケット通貨コース	第59期	120円	±0円	6,680円	9,025円

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。基準価額(1万口当たり)は、信託報酬控除後のものです。

分配金引き下げについて

2016年初来でみると、新興国高利回り社債市場は、1月に中国株式市場の急落による影響等を受け下落する場面があったものの概ね堅調に推移していますが、各通貨コースの経費控除後の配当等収益と売買益等の分配対象額は、毎月の分配金のお支払い等により概ね減少傾向となっています。

今回の決算においては、基準価額の水準や市況動向等を総合的に勘案し、分配金の水準を下げることにより、信託財産の成長を図りながら収益分配を行うことが投資家の皆さまの中長期的な利益につながると考え、円コース(毎月分配型)の分配金を60円(1万口当たり、税引前)に、豪ドルコース(毎月分配型)及びブラジルリアルコース(毎月分配型)の分配金をそれぞれ80円(1万口当たり、税引前)に、メキシコペソコース(毎月分配型)の分配金を40円(1万口当たり、税引前)に引き下げることいたしました。

上記は過去の実績・状況です。本見通しないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型)【愛称:グローイング・スター】

新興国高利回り社債市況および分配金を引き下げたコースの2016年1月～7月の振り返り

【新興国高利回り社債市況】

新興国高利回り社債市況は、当期間(2016年1月1日～2016年7月29日)前半においては、中国経済の先行き不透明感、原油価格の下落などを受けリスク回避姿勢が高まったことから当初は軟調に推移しましたが、2016年2月以降、原油価格が反発したことなどから市場心理が好転し、上昇に転じました。

当期間後半においては、英国のEU(欧州連合)離脱を問う国民投票における離脱派の勝利などを受けて一時的にリスク回避傾向が強まる局面もありましたが、原油価格が底堅く推移したことなどが影響し、新興国高利回り社債市況は上昇基調が続きました。

【円コース(毎月分配型)】

円コース(毎月分配型)については、為替ヘッジコストなどのマイナス要因はあったものの、新興国高利回り社債市場からの収益がプラス要因となり、当期間の基準価額(分配金再投資)は11.6%上昇しました。

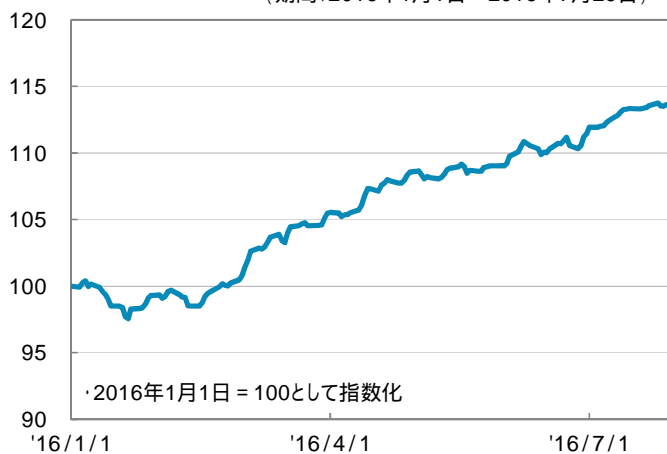
【豪ドルコース(毎月分配型)】

豪ドルは、当期間前半においては、中国を含む世界景気の減速懸念の高まりなどを背景に、対円で下落しました。当期間後半においても、RBA(オーストラリア準備銀行)が政策金利を引き下げたことや英国のEU離脱問題に対する懸念が高まったことなどが影響し、豪ドルは対円で下落しました。

その結果、豪ドルコース(毎月分配型)については、豪ドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となったものの、新興国高利回り社債市場からの収益や為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)などがプラス要因となり、当期間の基準価額(分配金再投資)は0.3%上昇しました。

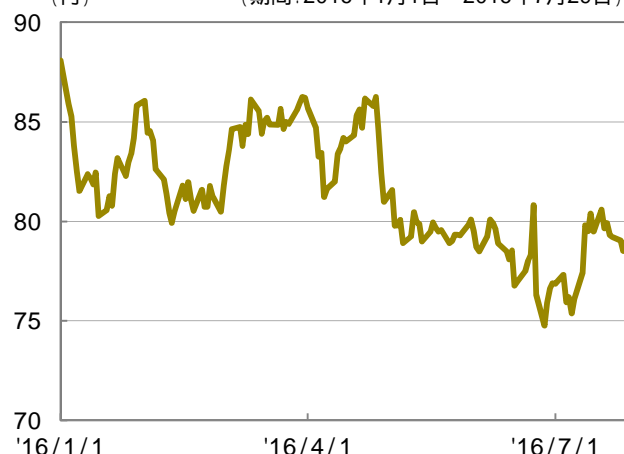
米ドル建新興国高利回り社債の推移

(期間:2016年1月1日～2016年7月29日)



豪ドル(対円)の推移

(円) (期間:2016年1月1日～2016年7月29日)



(出所) Bloombergのデータより三菱UFJ国際投信作成

上記は、過去の実績・状況です。本見通しなし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。上記は指数を使用しております。指数については【本資料で使用した指数について】をご覧ください。計測期間が異なる場合は結果も異なることにご注意ください。上記は過去の市場の推移をお伝えするものであり、当ファンドのベンチマークではありません。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型)【愛称:グローイング・スター】

分配金を引き下げたコースの2016年1月～7月の振り返り

【ブラジルリアルコース(毎月分配型)】

ブラジルリアルは、当期間前半においては、世界景気の減速懸念の高まり等を背景に円高が進行したことなどから、対円で下落する局面がありました。しかしその後、原油価格が反発したこと、膠着状態にあったルセフ前大統領に対する弾劾手続きが進展し、政権交代と景気対策に対する期待感が高まったことなどが影響し、ブラジルリアルは対円で上昇に転じました。当期間後半においても、ルセフ前大統領から引き継がれた暫定政権の政策期待に対する高まりなどから、ブラジルリアルは底堅く推移しました。

その結果、ブラジルリアルコース(毎月分配型)については、新興国高利回り社債市場からの収益や為替取引によるプレミアムに加え、ブラジルリアルが対円で上昇したことなどがプラス要因となり、当期間の基準価額(分配金再投資)は20.5%上昇しました。

【メキシコペソコース(毎月分配型)】

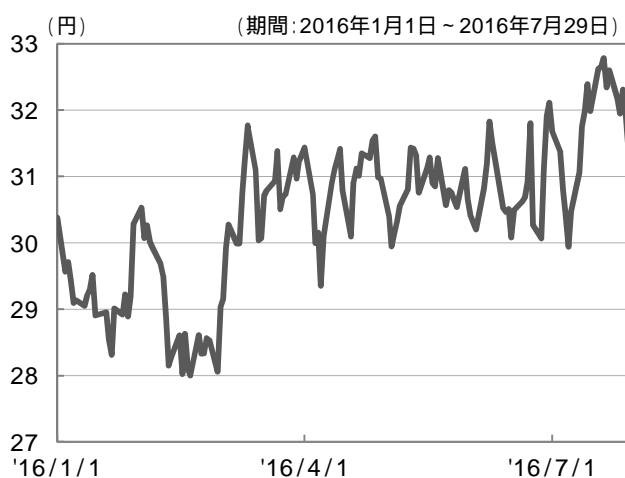
メキシコペソは、資源価格の回復や中央銀行がメキシコペソの安定とインフレ抑制を図り利上げを2回(2月、6月)行ったことなどから上昇する局面もありましたが、年初来でみると対円で下落しました。年初以降は、資源価格の下落や中国株の急落、欧州金融機関の信用不安などを受けたリスク回避の流れで円を買う動きが強まったことなどから、メキシコペソは対円で下落しました。

2月中旬には当局が通貨の安定やインフレを抑制するための緊急利上げ、為替介入、歳出削減を発表したほか、資源価格が底打ちしたことなどから市場で安心感が広がり、メキシコペソは対円で一時下げ幅を縮めたものの、4月末に日銀が追加金融緩和を見送ったことなどから円高が進行しメキシコペソは対円で下落しました。

6月には、米国の利上げ期待が後退したものの、英国民投票でEU離脱派が勝利したため、リスク回避の流れからメキシコペソは対円で下落しました。その後、6月末に利上げが行われるとメキシコペソは落ち着きを取り戻しました。

その結果、メキシコペソコース(毎月分配型)については、新興国高利回り社債市場からの収益や為替取引によるプレミアムなどがプラス要因となったものの、メキシコペソが対円で下落したことなどがマイナス要因となり、当期間の基準価額(分配金再投資)は10.7%下落しました。

ブラジルリアル(対円)の推移



メキシコペソ(対円)の推移



(出所) Bloombergのデータより三菱UFJ国際投信作成

上記は過去の実績・状況です。本見通しなしい分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型)【愛称:グローイング・スター】

新興国高利回り社債市場の今後の見通し・運用方針

【今後の見通し】

主要新興国では、先進国と比べ相対的に低い債務残高や潤沢な外貨準備高等を背景に中長期的にファンダメンタルズが良好であり、今後も相対的に高い経済成長が見込まれます。また、当面世界景気が後退局面に陥るリスクは低いと見られること、先進国ではFRB(米連邦準備制度理事会)が慎重なペースで利上げを実施するなか、ECB(欧州中央銀行)や日銀を始めとする多くの中央銀行が緩和的な金融政策を維持すると見られること、原油価格が現状水準で推移すると想定していることなども新興国社債市場の支援材料になると考えます。ただし、新興国では個別国間で成長率の見通しが異なるなか、足下の債券価格の上昇等により一部の新興国ではバリュエーション(投資価値基準)面で割高感が見受けられることに注意が必要です。

【運用方針】

新興国高利回り社債の運用においては、投資対象国の財政状況や対外収支状況などファンダメンタルズの分析を重視し、国別選択に重点を置いた運用を継続します。ファンダメンタルズが良好な国の中では、国の成長にとって重要で政府による支援が得られやすい産業や国際的に競争力のある企業に注目します。具体的には、国内の政局動向には注視を要するも、安定した収益構造や低い債務比率、厚い資本基盤などを有すると考えるブラジルの大手金融機関などを中心に組み入れを行います。一方、対外資金への依存度が高く外部環境からの影響を受けやすいと思われるハンガリーの企業が発行する社債等については消極姿勢とします。

(ピムコジャパン・リミテッドのコメントより三菱UFJ国際投信作成)

設定来の米ドル建新興国高利回り社債と利回りの推移

米ドル建新興国高利回り社債の推移



米ドル建新興国高利回り社債の利回り推移



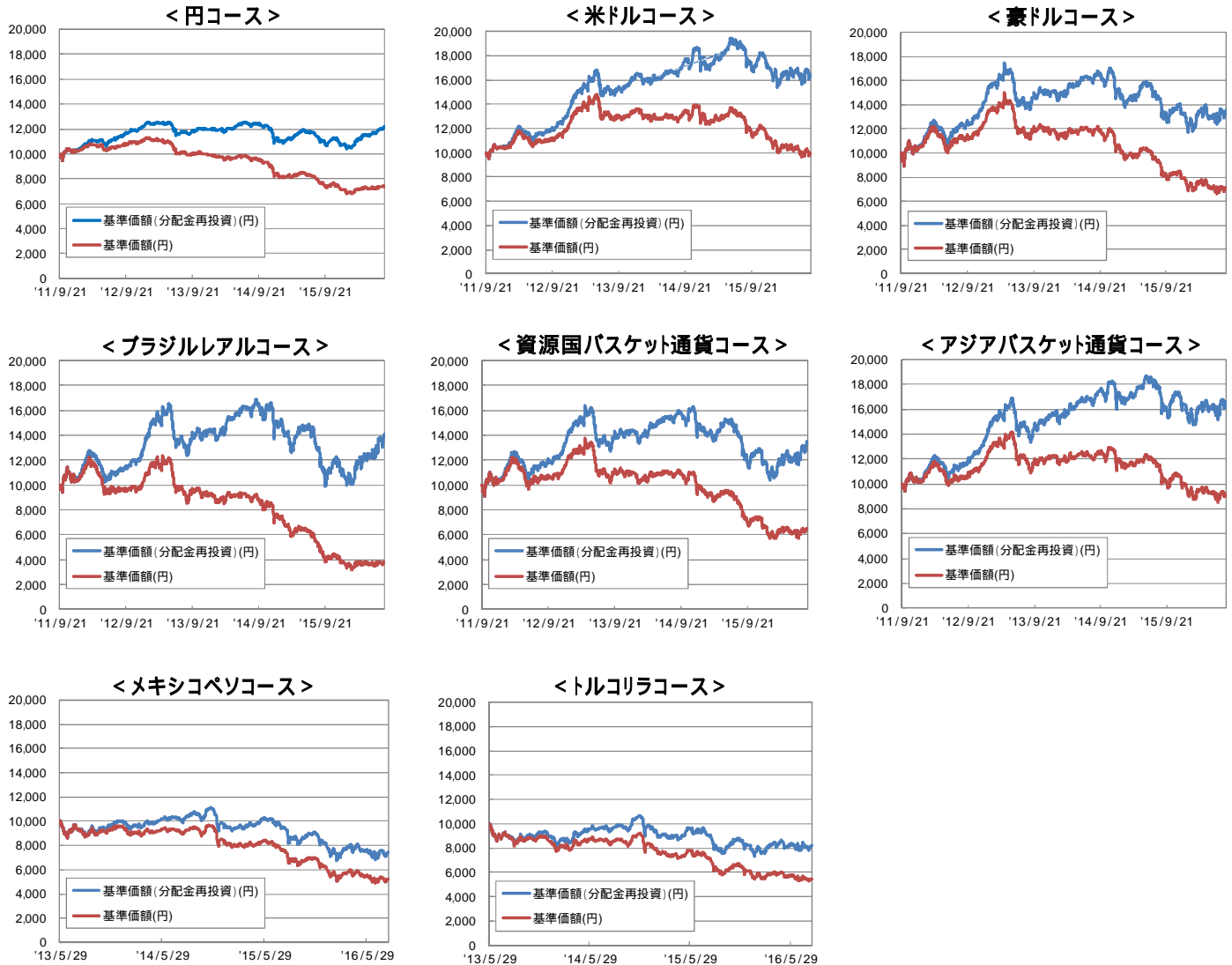
(出所)Bloombergのデータより三菱UFJ国際投信作成

上記は、過去の実績・状況です。本見通しないし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。上記は指数を使用しております。指数については【本資料で使用した指数について】をご覧ください。計測期間が異なる場合は結果も異なることにご注意ください。上記は過去の市場の推移をお伝えするものであり、当ファンドのベンチマークではありません。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ(毎月分配型)【愛称:グローイング・スター】

各通貨コースの基準価額等の推移(設定日～2016年8月15日)

マネーパルファンドを除く



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)は設定日を10,000として指数化しています。
- ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬除後の値です。
- ・信託報酬率については、後記の「ファンドの費用・税金」に記載しています。
- ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものとして計算しています。
- ・各ファンド(メキシコペソコース、トルコリラコースを除く)は2011年9月21日設定、メキシコペソコースとトルコリラコースは2013年5月29日設定。

【本資料で使用した指数について】

新興国高利回り社債: J.P.モルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレード

J.P.モルガンCEMBIブロード・ノン・インベストメント・グレードとは、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、米ドル建ての新興国社債(非投資適格)のインデックスです。同指数の著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しております。

上記は過去の実績・状況です。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。上記は指数を使用しています。指数については【本資料で使用した指数について】をご覧ください。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ



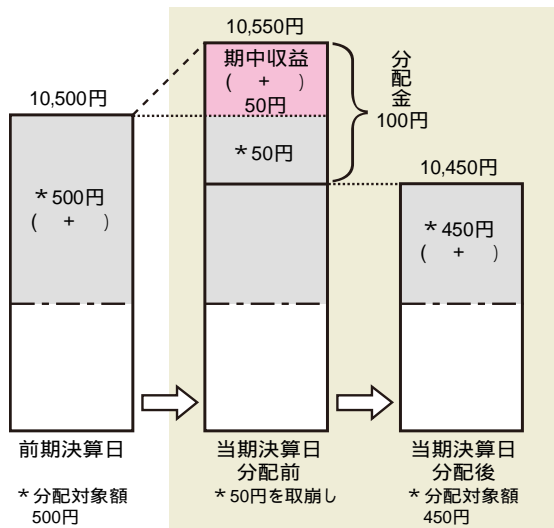
分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配対象額は、経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益ならびに 分配準備積立金および 収益調整金です。

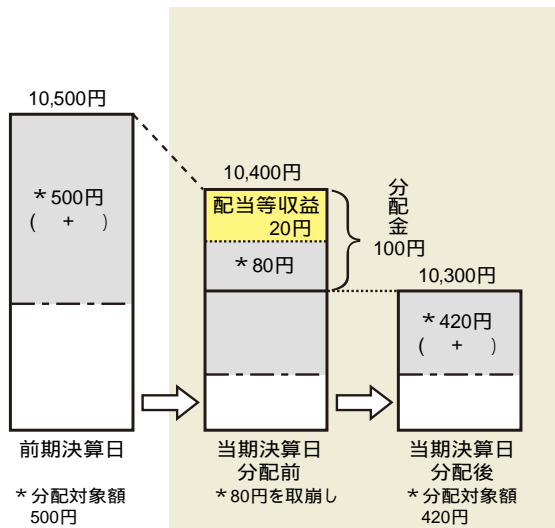
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



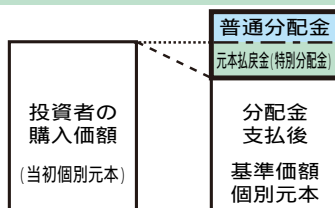
上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金：当期の経費控除後の配当等収益および経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金：追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

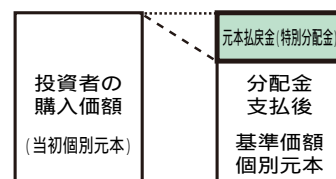
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)

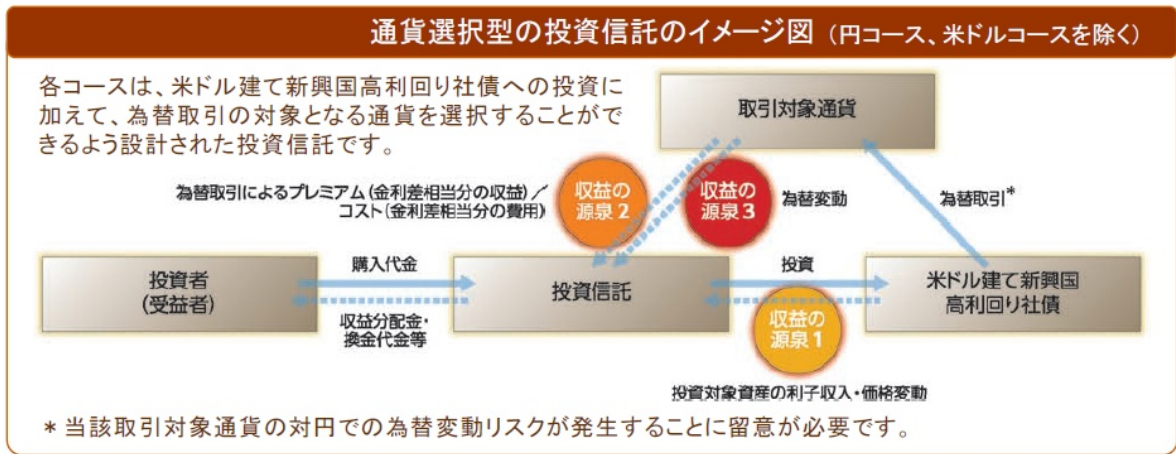


普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

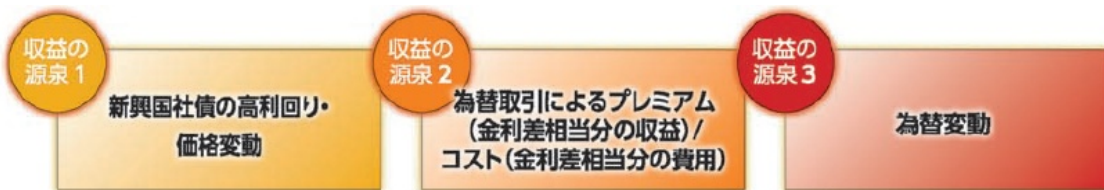
元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

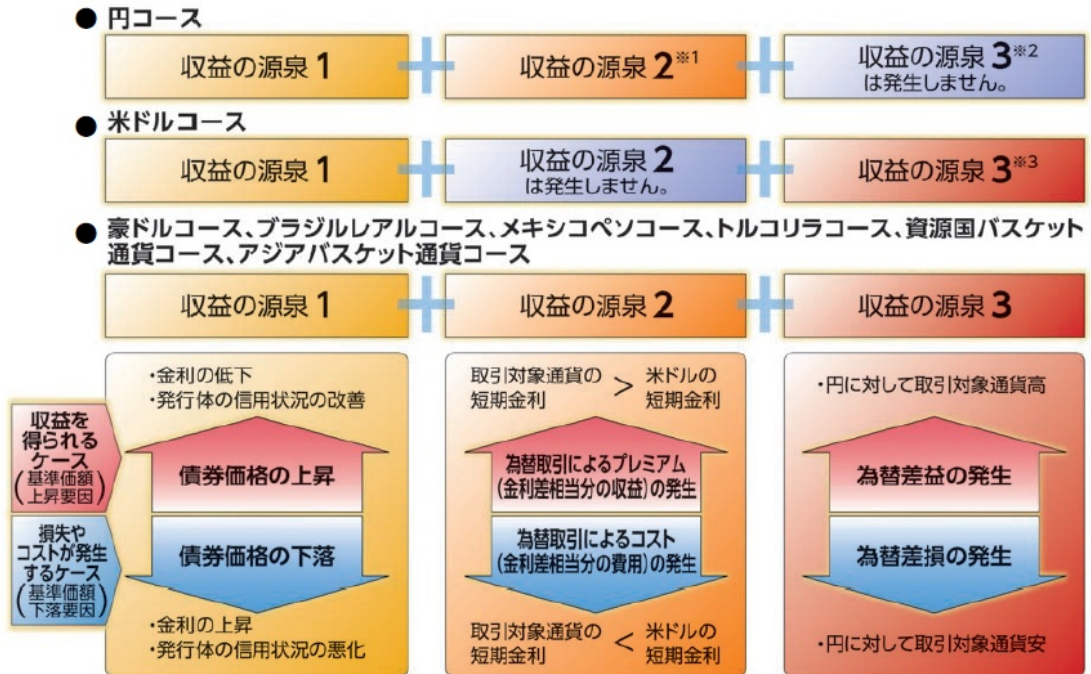
通貨選択型ファンドの収益のイメージ



● 各コースの収益の源泉としては、以下の3つの要素があげられます。



● 各コースにおける収益の源泉と基準価額の変動要因は以下の通りです。それぞれの収益源に相応してリスクが内在していることに留意が必要です。



- 1 円コースにおいては、対円での為替ヘッジによるプレミアム (金利差相当分の収益) / コスト (金利差相当分の費用) が生じます。
- 2 円コースでは、為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。
- 3 米ドルコースでは、米ドルが対円で上昇 (円安) した場合は為替差益が、米ドルが対円で下落 (円高) した場合は為替差損が発生します。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ [愛称: グローイング・スター]
ファンドの目的・特色

「三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ」は、以下の8つの通貨コースとマネーボールファンドの9本のファンドで構成される投資信託です。

<円コース> (毎月分配型)	/	<米ドルコース> (毎月分配型)
<豪ドルコース> (毎月分配型)	/	<ブラジルリアルコース> (毎月分配型)
<メキシコペソコース> (毎月分配型)	/	<トルコリラコース> (毎月分配型)
<資源国バスケット通貨コース> (毎月分配型)	/	<アジアバスケット通貨コース> (毎月分配型)
<マネーボールファンド>		

「8つの通貨コース」について
ファンドの目的

米ドル建ての新興国の高利回り社債を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

ファンドの特色

- ・当ファンドシリーズは、債券への投資に加えて、為替変動リスクの異なる8つの通貨コースを選択することができます。
- ・資源国バスケット通貨コース(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランド)およびアジアバスケット通貨コース(韓国ウォン、インドルピー、インドネシアルピア)においては、それぞれ3通貨への実質的な配分は3分の1程度ずつになることを基本とします。ただし、投資環境、資金動向、為替の変動等により、実質的な通貨配分が3分の1程度ずつからカイ離する場合があります。
- ・各コースは、主として円建外国投資信託への投資を通じて、米ドル建ての新興国の高利回り社債等へに実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
- ・投資する米ドル建ての新興国の高利回り社債は、原則として取得時においてCCC格相当以上の格付けを取得しているものに限り、格付会社(スタンダード・アンド・プアーズ(S & P)、ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's)など)によりBB格相当以下の低い格付けを付与された債券をいいます。
- ・一般的に高利回り社債は、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して、債券の元本や利子の支払いが滞ることや、支払われなくなるリスクが高いため、通常、その見返りとして投資適格債券よりも高い利回りを投資家に提供しています。
- ・つまり、高利回り社債は、主として低格付けの発行体が発行する債券で、信用力が低い反面、高い利回りが期待できる債券です。
- ・各コースにおいて、投資対象とする新興国の高利回り社債への投資は高位を維持することを基本とします。
- ・各コースが投資を行う外国投資信託においては、主に米ドル建ての新興国の高利回り社債に投資を行う一方で、それぞれ以下の為替対応を行います。
- ・円コース(毎月分配型): 原則として対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。
「為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益)またはコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。
- ・米ドルコース(毎月分配型): 原則として対円での為替ヘッジを行わないため、米ドルの対円での為替変動の影響を大きく受けます。
「為替差益または差損」が生じます。
- ・上記以外の各コース: 対円での為替ヘッジを行わず、米ドル売り、各コースの対象通貨買いの為替取引を行うため、各コースの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。
「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)またはコスト(金利差相当分の費用)」、「為替差益または差損」が生じます。
- ・為替取引とは、円コース、米ドルコース以外の各コースにおいて、為替予約取引等を利用することにより、米ドル売り、各コースの対象通貨買いを行うことをいいます。為替取引を行うことにより、各コースの対象通貨ベースでの新興国の高利回り社債への投資効果を追求します。
- ・為替取引にあたっては、一部新興国通貨の場合、「NDF(ノン・デリバラブル・フォワード)取引」を利用する場合があります。
- ・各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合、当該コースでは「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)」の獲得が期待できます。一方、各コースの取引対象通貨の短期金利が米ドルの短期金利より低い場合、当該コースでは「為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。円コースにおいては、上記同様、対円での為替ヘッジによるプレミアム(金利差相当分の収益) / コスト(金利差相当分の費用)が生じます。
- ・販売会社によっては、取り扱わないコースがある場合があります。詳しくは、販売会社にご確認下さい。
- ・三菱UFJ国際投信は、各コースにおいて、投資信託証券への運用の指図に関する権限をビムコジャパンリミテッドに委託します。

<主な投資制限>

- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
- ・外貨建資産への直接投資は行いません。

<分配方針>

- ・毎月13日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ国際投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等)	後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用 ... 三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ [愛称: グローイング・スター]
ファンドの目的・特色
「マネープールファンド」について
ファンドの目的

わが国の公社債等を実質的な主要投資対象とし、利子等収益の確保をめざします。

ファンドの特色

- ・運用は主にマネー・マーケット・マザーファンドへの投資を通じて、わが国の公社債等へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。
- ・実質的にわが国の短期公社債等を中心に投資し、利子等収益の確保を図ります。
- ・毎年6・12月の各13日(休日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

< 主な投資制限 >

- ・デリバティブの使用はヘッジ目的に限定しません。

「スイッチング」について

各ファンド間でスイッチングが可能です。

- ・スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。
- ・販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。
- ・マネープールファンドの購入は、マネープールファンド以外の各コースからのスイッチングの場合に限定します。

投資リスク
基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。(次ページに続きます。)

各ファンド(マネープールファンドを除く)

価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、各ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

為替変動リスク
円コース

組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。対円での為替ヘッジを行う場合で円金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替ヘッジによるコストとなります。

米ドルコース

組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いませんので、対円での為替変動の影響を大きく受けます。

豪ドルコース ブラジルリアルコース メキシコペソコース トルコリラコース

各ファンドの組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、各ファンドの対象通貨買いの為替取引を行うため、各ファンドの対象通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

資源国バスケット通貨コース

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、資源国バスケット通貨(豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドを各々3分の1程度ずつ)買いの為替取引を行うため、当該バスケット通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

アジアバスケット通貨コース

組入外貨建資産は米ドル建て資産ですが、米ドル売り、アジアバスケット通貨(韓国ウォン、インドルピー、インドネシアルピアを各々3分の1程度ずつ)買いの為替取引を行うため、当該バスケット通貨の対円での為替変動の影響を大きく受けます。

為替取引を行う場合で当該通貨の金利が米ドル金利より低いときには、これらの金利差相当分が為替取引によるコストとなります。

為替に関する取引規制等がある場合など、通貨によっては、取引量が少なく需給動向等の影響を受けやすいため、市場で取引もしくは公表されている金利と大きく乖離した金利水準をもとに取引されることがあります。このため、当該通貨の金利が米ドルより高いときであっても、為替取引によるコストが生じる場合があります。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ [愛称: グローイング・スター]
投資リスク
信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

カントリー・リスク

新興国への投資は、先進国への投資を行う場合に比べ、投資対象国におけるクーデターや重大な政治体制の変更、資産凍結を含む重大な規制の導入、政府のデフォルト等の発生による影響を受けることにより、価格変動・為替変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

各ファンドは、格付けの低い高利回り社債を主要投資対象としており、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、価格変動・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

マネープールファンド
価格変動リスク

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

信用リスク

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

流動性リスク

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

その他の留意点

各ファンド(マネープールファンドを除く)

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

マネープールファンド

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

・ファンドは、ファミリーファンド方式により運用を行います。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを共有する他のベビーファンドの追加設定・解約によってマザーファンドに売買が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響する場合があります。

リスクの管理体制

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、定期的に関催されるリスク管理に関する会議体等において、それらの状況の報告を行うほか、必要に応じて改善策を審議しています。なお、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ [愛称: グローイング・スター]
手続・手数料等
お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 マネーボールファンドの購入は、マネーボールファンド以外の各ファンドからのスイッチングによる場合に限り、 基準価額は1万円当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社が指定する期日までにお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 / 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 各ファンド(マネーボールファンドを除く) ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 2016年の該当日は1月18日、2月15日、3月25日、5月30日、7月4日、9月5日、11月11日、11月24日、12月26日です。なお、休業日は変更される場合があります。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情(投資対象国における非常事態(金融危機、デフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争等)による市場の閉鎖もしくは流動性の極端な減少等)があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 マネーボールファンド 金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	各ファンド(メキシコペソコース、トルコリラコースを除く) 2021年6月11日まで(2011年9月21日設定) メキシコペソコース / トルコリラコース 2021年6月11日まで(2013年5月29日設定)
繰上償還	各ファンドについて、受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合・各ファンドの受益権の口数を合計した口数が50億口を下回ることとなった場合・ファンドを償還させることが受益者のため有利であると認めるとき・やむを得ない事情が発生したとき等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。 各ファンド(マネーボールファンドを除く) 投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。 マネーボールファンド マネーボールファンドを除く各ファンドがすべて償還する場合には繰上償還となります。
決算日	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月13日(休業日の場合は翌営業日) マネーボールファンド 毎年6・12月の13日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	各ファンド(マネーボールファンドを除く) 毎月の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。 マネーボールファンド 年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。くわしくは販売会社にお問合わせください。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ [愛称: グローイング・スター]
手続・手数料等
ファンドの費用・税金
・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

各ファンド(マネーボールファンドを除く)
お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に対して、 上限3.24%(税抜3%) (販売会社が定めます) (購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	日々の純資産総額に対して、 年率1.8468%(税抜年率1.71%) をかけた額 ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用(信託報酬)はかかりませんので、お客さまが負担する実質的な運用管理費用(信託報酬)は上記と同じです。
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

・購入時手数料に関する留意事項

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。

【金額を指定して購入する場合】

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

【口数を指定して購入する場合】

～手数料率3.24%(税込)の例～
例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料 = (10,000円 ÷ 1万口) × 100万口 × 3.24% = 32,400円となり、合計1,032,400円をお支払いいただくこととなります。

三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ [愛称: グローイング・スター]
手続・手数料等
ファンドの費用・税金
・ファンドの費用

【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】

マネープールファンド
お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	各月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に応じて、 日々の純資産総額に対して、 年率0.594% (税抜 年率0.55%) 以内 をかけた額 くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
その他の費用・ 手数料	監査法人に支払われるファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についてもファンドが負担します。 上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。

上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。
なお、ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

・税金

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。
なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。
くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

本資料のご利用にあたっての注意事項等

投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。/ 販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。/ 投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。/ 投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

本資料は、当ファンドの運用状況をお知らせするために三菱UFJ国際投信が作成した資料です。/ 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。/ 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。/ 本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

(ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

< お客様専用フリーダイヤル > **0120-151034**
受付時間 / 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・12月31日 ~ 1月3日を除く)

< オフィシャルサイト > <http://www.am.mufig.jp/>

販売会社情報一覧表

ファンド名称:三菱UFJ 新興国高利回り社債ファンド 通貨選択シリーズ

商号	登録番号等		日本証券業 協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号				
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号				
株式会社 南都銀行 (一部コースのみ取扱)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第15号				
株式会社 三菱東京UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号				
株式会社 三菱東京UFJ銀行(委託金融商品 取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株 式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号				
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号				